

令和7年度（2025年度）論作文課題

論文課題

- **大学卒業程度等〔事務職、学校事務職、社会福祉職、心理相談員、技術職（土木・建築・機械・電気・化学・農業・造園）、保健師、文化財専門職（社会人経験者の文化財専門職を含む）、薬剤師、助産師、学芸員（天文学）〕**

本市が行政業務において生成AIを導入してから間もなく2年がたつ。約7割の職員は作業効率が向上したという。しかし利用用途は文書作成や企画立案にとどまる。今後生成AIを市民サービスに活用するにはどのような事例が考えられるか。その際の注意点を交え、あなたの考えを1,200字以内で述べなさい。

- **消防職（大学卒業程度）**

本市の①消防、②防災、③救命救急に関する課題について述べ、それに対して消防官としてどのような取り組みが必要か。あなたの考えを1,200字以内で述べなさい。

- **社会人経験者対象〔事務職、事務職（情報）、技術職（土木・建築・機械・電気・農業）、動物専門職〕**

あなたがこれまで本市市政をどう捉え評価していたか。それを踏まえて、あなたが本市への採用後、取り組むべき課題を1,200字以内で述べなさい。

作文課題

- **高等学校卒業程度等〔事務職、学校事務職、消防職（高等学校卒業程度）、救急救命士、診療放射線技師、視能訓練士、作業療法士、言語聴覚士〕**

本市が、いつまでも住み続けたいまちであり続けるためになすべきことはどのようなことか、あなたの考えを800字以内で述べなさい。

- **高等学校卒業程度等〔技術職（土木、建築、機械、電気）、保育士、給食栄養士、臨床検査技師〕**

行政に対する市民の要望は非常に多様である。そのような中で、限られた資源の中から優先して取り組むべきものを選定する際に、行政はどのような判断基準を持つべきか。あなたの考えを800字以内で述べなさい。

- **看護師、歯科衛生士（社会人経験者の歯科衛生士も含む）**

昨今、医療従事者に対しては、依然と比べより高い質と高い専門性が求められている。これに対し、今後どのように研さんを積み、市民の要請にこたえようとするのか。あなたの考えを800字以内で述べなさい。

- **障がい者対象**

本市職員として勤務するにあたり、コミュニケーション能力、協調性は欠かせない。この2つが大切な理由及び、あなたはこの2つの能力をどう向上させていくのかについて800字以内で述べなさい。

令和7年度（2025年度）集団討論課題

- ※ 集団討論を実施しない職種もあります。詳しくは各試験案内をご覧ください。
- ※ 課題が複数ある場合は、グループごとに、課題の中の1題を出題

大学卒業程度等

- 熊本地震の記録や記憶を次世代に伝承し、防災への関心や理解を深めるためにはどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 本市においては耐震性能不足や老朽化、狭あい化などを理由に本庁舎の建て替えが検討されているところである。市民にとって使いやすい庁舎とはどのような機能を備えたものであるか、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 本市では、地域活動やボランティア活動への参加を促進するため、「くまもとアプリ」を用いてボランティア活動等の参加者に対して、ポイント付与制度を導入している。今後、このアプリの活用範囲を広げ、登録者数を増加させるためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 県内への半導体関連企業の進出などに伴い、近年、本市においても外国人住民が増加している。今後、多文化共生のまちづくりを進めていくために、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 熊本市と周辺自治体が共同で運営する「くまもと出会いサポートセンター Kumarry（クマリー）」は、AIマッチングや婚活イベントを通じて若者の出会いを支援している。この取組をより効果的に活用し、結婚支援を通じた若者の定着につなげるためには、自治体としてどのような工夫が求められるか、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 本市では新庁舎の整備・移転計画を進めており、現庁舎の跡地が今後利活用される予定である。現庁舎跡地を利用したまちづくりについて、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 大規模な災害が発生した際には、高齢者や障がい者など、避難や支援に特別な配慮が必要な「要援護者」への対応が重要である。要援護者が安全に避難し、必要な支援を受けられるようにするために、市としてどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。

社会人経験者対象

- 本市では、業務効率化や市民サービスの向上を図るため、令和5年度（2023年度）から生成AIを導入している。今後、市としてどのように生成AIを活用していくべきか、留意すべき点も含め、グループで話し合い、意見をまとめてください。

- 県内への半導体関連企業の進出等により、新たな雇用が見込まれる一方で、市内企業では深刻な人手不足が続いており、今後もその傾向が続く見込みである。このような現状を踏まえ、市内企業の人手不足に対応するために、市としてどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 職員が、自身のライフスタイルに応じた働き方を選び、能力を最大限に発揮できるようにするために、組織としてどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。

高等学校卒業程度等

- 近年、地震や豪雨などの自然災害が頻発する中で、地域の防災力を高めるためには、子どもや若者の参画が重要である。しかしながら、現状では防災活動に若年層が関わる機会は限られており、意識の醸成や参加のきっかけづくりが課題となっている。子どもや若者が、地域の防災活動に積極的に関わられるようにするために、市としてどのような取組を行うべきか、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 町内自治会とは、日常生活の中で生じる地域課題を互いに協力し合って解決し、豊かで住みよい地域をつくるための活動を行う団体であるが、近年、本市において町内自治会の加入率は減少傾向にある。自治会加入率向上のため、市としてどのような取組を行うべきか、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 自転車事故による頭部のけがを防ぐため、熊本市では、条例により、令和4年10月からすべての自転車利用者に対し、ヘルメット着用を努力義務化した。しかしながら、着用をためらう人も少なくなく、安全意識の向上や着用しやすい環境づくりが課題となっている。市民が、自転車乗車時にヘルメットを着用する習慣を定着させるために、市としてどのような取組を行うべきか、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 地域の防犯力を高めるためには、住民の防犯意識の向上や見守り活動の充実が求められている。熊本市において、地域ぐるみの防犯対策を進めるために、市としてどのような支援や仕組みが必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 熊本市では、ホームページや SNS などを活用した情報発信を進めているが、高齢者の中には、インターネットやスマートフォンの利用が難しい方もいる。そのような方にも必要な情報を届けるために、市としてどのような工夫が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 熊本市では、水道水の100%を地下水でまかなっており、保全に力を入れているが、近年、自然かん養域の減少や水質の変化などが課題となっている。地下水を将来にわたって守り続けるために、市が市民と協力して進めるべき取組について、グループで話し合い、意見をまとめてください。